

うお願い申し上げます。 りますので、 身近に感じられ、 今後もより一層のご支援をいただきますよ より信頼される市議会を目指してまい



第94代議長 野中一



第105代副議長 廣瀬集



揮する中で、更なる市民福祉の向上に努めております。

新庁舎に移転し、

新たな思いで、

市民の皆様に、

より

なっているかを検証し、

市政の監視役としての機能も発

甲府市議会は、

その施策が、

真に市民のための施策と

例

いります。

ふれるまち・甲府」

を都市像に掲げた甲府市総合計画

多種多様な施策を積極的に推進しております。

さて、甲府市では「人がつどい

心がかよう

笑顔

ともに、その責務を全うするため、

全力で取り組んでま

光栄に存じますと

名誉ある甲府市議会の代表として、

第10代副議長に選任されました。

私どもは、 また、

平成25年6月定例会において、

第94代議長

甲府市議会は、6月定例会を6月10日から20日までの11日間の日程で行いました。

甲府市国民健康保険事業特別会計の専決処分や、甲府市子ども・子育て会議条例制定について、 平成25年度甲府市一般会計補正予算(第1号)など、市長から提案された15議案を審議し、す べて、原案のとおり承認・可決・同意いたしました。(詳細は10ページをご覧下さい。)

主な条例は、**甲府市職員の給与の臨時特例に関する条例**の制定で、甲府市職員の給与を一定期 間減額して支給するものです。

主な補正予算につきましては、重度心身障害者医療費助成事業等です。

開場セレモニーを開催しました。

6月定例会の初日に新議場において開場セレモニーを開催しました。

セレモニーでは、4オクターブの驚異的な音域で幅広いレパートリーを歌いこなし、山梨好きが高 甲府市民となり、世界的にも活躍されている声楽家 本岩孝之氏が「甲府市の歌」、「花は咲く」、「ふるさと」 の3曲を披露してくださいました。





伺います。

どのように具現化していくのか 笑顔あふれるまち・甲府」を、 る「人がつどい 心がかよう

甲府市総合計画の都市像であ

いくことが大事です。

方向性を出し年次的に構築して のような都市にしていくのか 中長期的な展望から甲府市をど において、短期的な政策でなく

市政に関する質問



政友クラブ --問-

-答)

憲

斉藤

す。

り組んでいきたいと考えていま

ら面へつなげていけるよう、

取

みの成果を、点から線へ、

線か

市民と手を携えた協働の取り組

◇今後の甲府市の将来像に 今後の甲府市の将来像を念頭 代表質問 安定的に提供するために、 員の人材育成をどのようにして の高い行政サービスを効率的に ◇職員の意識改革について 地方分権の進展に対応した質 質 閰

ついて

いくのか伺います。

る、 組織目標の達成に貢献し、 後も個々の適性や能力を伸ばし、 に取り組んでまいります。 材育成を推進していますが、今 の信頼に応えられる職員の育成 市民の期待や時代の要請によ 求められる職員像を掲げ人 市民

他の質問項目

- 新庁舎について
- 特色ある甲府教育の推進について
- 図書館運営の現状について

ストックなどの経営資源を 新庁舎をはじめとする都市基

防災対策の方針について

るとともに、まちの活性化など

層、

効率・効果的に活用す



新政クラブ

◇新庁舎について

答)

代表質問 (一問

想をお聞かせ下さい 市長はこの庁舎の使い心地の感

市職

ます。 きの便利さや、職員の親切丁寧 な対応、 いただいているところでござい 市民の皆様から窓口での手続 また施設面でも好評を

う努めてまいります。 れ親しまれる庁舎となりますよ 今後も、市民の皆様から愛さ

◇案内板の設置等について

質問

どに、名所旧跡ばかりでなく、 ここを左に曲って何メートルで 観光客等に対し歩道のわきな

野中 ると思います。 岳」と言った案内があると助か ここから見える山が「甲斐駒ケ 「市役所」と言った案内板や、

思いますが、見解を伺います。 スを有料で用意するのも良いと

置しますが、一部に広告スペー

また、この看板は市道上に設

およそ1ヶ月が経過しましたが

甲府市役所の新庁舎が完成し

質

問

の設置を行いました。 甲府駅北口の整備に併せ案内板 アップにも繋がるものであり、 上はもとより、本市のイメージ を表示することは、利便性の向 までの距離や景観ポイントなど 歩行者向けの案内板に目的 地

努めてまいります。 中で検討してまいります。 の目線に立ち、案内板の整備に ては、他都市の状況を調査する なお、広告の掲載につきまし 今後も、観光客や市民の皆様

観光客による甲府の街の活性化 ごとに質疑応答を行う。 一括…質問項目すべてを質問し、一括で答弁を行う。

甲府市議会だよりNo.178 平成25年8月1日発行

新庁舎のプリンターについて

他の質問項目

ついて

◇世代間で互いに支え合う

地域づくりについて

超高齢化社会を迎えているな



明 公 党 答)

◇河川の環境保全について

兵道

顕司

河川愛護の観点から、

河川

問

代表質問(一問

環境保全の意義を実地で学ぶ機 施や、子供たちにも、 が当局の見解をお伺いします。 状を見せたうえで、その課題や 沿岸住民に対する意識啓発の実 環境保全フォーラム」を開催し、 会を充実させるべきと考えます 河川の現

でいくのか、当局の見解をお伺 治体としてどのように取り組ん う地域づくりについて、基礎自 かで、世代間でお互いに支え合

いします。

来年度が「健やかいきいき甲

学べる機会などを盛り込むとと 基本目標のひとつである「環境 まいります。 もに、「河川環境保全フォーラ 河川の環境保全に関するセミナ 実践に向けた環境プログラムに、 教育を推進するまちづくり」の グラムを策定する際に検討して ム」につきましても、 ・や講演会、また体験を通じて 第二次甲府市環境基本計画の このプロ

他の質問項目

第五次甲府市総合計画に対する市 民の評価について

えております。

けた取組を一層推進します。

え合うコミュニティの構築に向

を目指し、地域で人と人とが支 べての世代が共に支え合う社会 実効性のある計画を策定し、す やニーズ等を十分に踏まえた、 調査を実施し、高齢者等の実情 ることから、各種のアンケート 府プラン」の見直し年度にあた

日本共産党

代表質問 (一括)

剛

石原

せんか。 めの努力を行うべきではありま 医療費助成制度の窓口無料化に 止を決定した、重度心身障害者 ついて、甲府市は制度存続のた 国の方針に基づき山梨県が廃

◇市内企業との連携による

製品開発について

LED製品を開発し成功した他

地元企業の共同開発により、

には、県民一人当たりの負担 います。 額措置の解消などがあげられて 国民健康保険の国庫負担金の減 が全国最大となっていることと、 山梨県が制度を見直した背景

療費の無料制度は堅持し、安定 してまいりたいと考えておりま した持続可能な制度として運営 今後も、 重度心身障害者の医

灯のLED化に向けた詳細設計

本市では現在、

市内防犯街路

どうでしょうか。

とタイアップして、

市内の防犯

も視野に、市内業者の製品開発 都市を参考に、地域経済活性化

街路灯のLED化をすすめては

他の質 問項目

改憲論議について

による受入れ体制の整備や製品

ED新製品の開発は、

地元企業

コスト等の課題があるものと考

市内業者とのタイアップしたし

めているところでありますが、

につきまして、

調査・研究を進



◇重度心身障害者医療費助

成制度の見直しについて

環境が、

以前にも増して厳しく

地方自治体を取り巻く行財政

に向けた取り組みを積極的に支 なっている中、職員の自己実現

仕事に対するやりが

意欲の向上にも努めて

こうふクラブ 代表質問(一括)

山田

◇重度心身障害者医療費助

成制度の見直しについて

ります。

専念できるよう取り組んでまい

厚

◇職員の意欲と健

康

の

維持

向上について

どならないものと思いますが える他の医療費助成事業の影響 について、連動して窓口廃止な 助成制度の窓口無料化廃止の与 いかがお考えでしょうか。 今回の重度心身障害者医療費

厳しい労働傾向が続く中で、

健

今の自治体職員の健康状態は

度につきましては、 無料制度を堅持してまいります。 とり親家庭等」の医療費助成制 「すこやか子育て」及び 現行の窓口 ひ

他の質問項目

「アベノミクス」に対する基本的

うか伺います。

スの充実に努められるのでしょ

に維持し向上させ、

市民サービ

体職員の意欲と健康をどのよう が削減される中、甲府市は自治 与減額に向けた国の地方交付税 康不調が多くなっています。給

- 給与減額に向けた地方交付税削減 職員給与削減要請への対応について な見解と政治姿勢について への対応について

おります。 を高め、 援して、

今後も職員が安心して公務に



-般質問

◇本市の今後の公共交通政 策について

進行する中、 備が急務であります。 した利便性の高い公共交通の整 少子高齢化や過疎化が急速に 地域のニーズに即

働きかけにも重点をおく必要が の対策だけでなく、住民側への など、サービスを提供する側へ あるのではないでしょうか。 市は路線バスの維持・活性化

地 が低迷している地区を対象に、 況や改善策を住民が主体となっ 路線バスが廃止されたり、 交換会を実施した地区のうち、 公共交通地域意見交換会を開催 してきましたが、今後は、 域勉強会を開催し、 市内を7ブロックに分けて、 地域の状 意見 利用

政友クラブ (一括)

陸雄

を図ってまいります。

◇地籍調査事業の進捗状況

て考えて行くという意識

0 一醸成

等について

池谷

聞かせ下さい。 少させるか、当局のお考えをお の筆界未定地の件数をいかに減 筆界未定の現状及び、 本市の地籍調査の進捗状況と 市として

%となっております。 ロメートルで、 在の認証済面積は53. 昭和41年から事業に着手し、 本市における地籍調査事業は 進捗率は42 16平方キ 現 82

その損失・不利益の説明や再度 地籍調査推進員の協力を得なが の立会い等の調査を行うなど、 また、筆界未定地については 解消に努めております。

他の質問項目

- 社会福祉法人に係る権限委譲事務 、の対応について
- の向上について 後期高齢者健診の申込みと受診率

◇庁用電気自動車の活用策

について



政友クラブ (一括)

-般質問

坂本

◇段ボールコンポスト等の

信康

ろであります。

局で検討するよう指示したとこ

取組について

問

〉耕作放棄地対策

の取組に

について、第3者委員会を先月

放射性検査薬の過剰投与問題

質問

ついて

の様に取り込んでいくのかお伺 いるが、 ストの普及促進費を予算化して いします。 平成25年度、 市民への普及促進をど 段ボールコンポ

局の見解をお伺いします。

また、電気自動車を普段の公

用策及び、普及拡大について当

庁用の電気自動車の今後の活

には、 であると考えております。 を進めて行くことが、大変有効 可燃ごみの減量化を図るため 生ごみの発生抑制の取組

どのように取り組んでいくのか

ているものと考えますが、今後: を強化して行くことが求められ

ました。 するために必要な基材等を提供 して、普及を図ることといたし 本年度から、生ごみを堆肥化

解をお伺いします。

きたいと思いますが、当局の見 V教室において活用していただ 教育の一環として小中学校のF 務に使用するだけでなく、環境

他の質問項目

女性消防団員の確保について 自主防災組織への対策について



育委員会や環境部など、関係部 おける使用につきましては、 てまいります。

また、小中学校のEV教室に

に基づき、

計画的に導入を図

実証実験を行い、その検証結果 庁用車としての実用性について

走行可能距離や充電時間など

お伺いします。

手の確保に努めてまいります。 早ければ、 するため、 農業生産法人など、 放棄地の発生防止に努めるとと 国の動向を注視する中で、 るとしており、本市としても、 生産法人などに貸し出す制度を 国では、 規模拡大を目指す農家や 農業の競争力を強化 来年度中にも導入す 耕作放棄地等を農業 多様な担い

新政クラブ -般質問 (一問--答)

清水

について

は公表されるのかお伺いします。

放棄地は増加しております。

農業の衰退に伴い本市の耕作

めるのか、また会議後の議事録

員会の会議を公開とし傍聴を認 設置しましたが、今後、この委

耕作放棄地対策への取り組み

は、 概要を個人情報に充分配慮した ージに公開してまいります。 上で、市立甲府病院のホームペ 議の結果につきましては、その ついても非公開としますが、会 調査委員会の会議につきまし また、同様の理由で議事録に 原則非公開としております。 個人情報を取り扱うことか

他の質問項目

- 今後の農業振興について
- 後の整備方針について 危機管理対策を含めた下水道の今

◇放射性検査薬の過剰投与

問題に関する調査委員



公 明 党 (一括) 達也

一般質問

長沢

◇胃がんリスク判定検診の 導入について

解を伺います。 入して欲しいと考えますが、見 も受診し易いので、 身体の負担が少なく、高齢者で を行っている都市があります。 ロリ菌や、胃がんのリスク検診 バリウム検査に代わり、 査で胃がんの原因といわれるピ 胃がん検診について、 本市でも導 従来の 血液検

推奨しておりません。 十分であるため、国においても 亡率の減少効果を示す証拠が不 る簡易な検診でありますが、死 「ピロリ菌胃がんリスク検診 胃がんのリスクが判定でき

ます。 況等を踏まえ、 国の動向や他都市の状 研究してまい

◇居宅介護住宅改修費 領委任払いについて の 受

閰

が、 とで費用の9割が支給されます を伺います。 除き利用者が全額を負担し、 用の助成について、 して欲しいと思いますが、 最初から1割負担で済む方法に 要介護認定者等の住宅改修費 利用者の負担軽減のため、 一部の方を あ

基本となっております。 還払い方式」(利用者が窓口 しては、介護保険法の中に 度全額を立て替える方法) 居宅介護住宅改修費につきま 償 が で

状況などを調査する中で、 式」に係る対象者の拡大につき ましては、 してまいります。 工業者へ与える影響、 ご質問の「受領委任払い 利用者の意向や、 他都市の 検討 施 方

八門項目

風しんワクチン費用の助成と予防 接種について



日本共産党

◇風しん予防接種の対象年 齢と費用助成について

りますが、年齢制限はなくすべ 接種助成制度は、 きではないでしょうか。 甲府市の風しんに対する予防 年齢制限があ

額を助成することは評価します はないでしょうか。 く、山梨県に働きかけるべきで また、接種費用のおおむね半 全額助成に道筋をつけるべ

調査」などを基に、過去におけ 考に採用いたしました。 る予防接種制度等や他都市を参 所が発表した「感染症流行予測 つきましては、 この事業における対象年齢に 国立感染症研究

防接種の費用の財政支援に加え なお、 国や県に対し、 他 の予

(一括) 英知 てまいりたいと考えております。 ◇幼児2人同乗用自転車 ンタル事業について

風しんにつきましても、要望し

清水

般質問

希望者が多いことから、貸し出 15台貸し出していますが、利用 の電動アシスト自転車を無料で 事業のひとつとして、3人乗り しょうか。 し台数を増やすべきではないで 現在、甲府市では子育て支援

ております。 理を行う中で事業の推進に努め 15台を効率的に運用するととも に、メンテナンスなどの維持管 本事業は、貸し出し自転車の

る中で、 数や利用状況の調査などを踏まえ につきましては、 ご質問の自転車の台数の拡大 研究してまいります。 自転車 0 耐 用

他の質問項目

- すこやか子育て医療費助成事業の 少人数学級の推進について 対象年齢の拡大について
- 甲府市議会だよりNo.178 平成25年8月1日発行

◇新庁舎のライフサイクル

コスト等について



みんなの党 一般質問 (一括)

正樹

は、

総合計画

の策定に関しまして

庁舎の施工者から「建物維

が提出されており

飯島 ますので、それを基本としてま 持保全計画」 いりたいと考えております。

◇市庁舎に係わる行政財産 目的外使用について

源確保について

問

問

なりましたが、庁舎の想定され る耐用年数は何年か、お尋ねし

甲府市役所新庁舎が供用とな

さい。 事務所を置く理由及び、使用料 の大幅減免の理由をお答えくだ 甲府市職員組合が、 庁舎内に

ます。

総ライフサイクルコストの引

答

目的も妨げないものとして、 行う場所であり、 員の福利厚生に係わる事務等を 可したものであります。 職員組合が事業主と同様な職 庁舎の用途も 許

政経営を行っていくか。

は、大変重要であると認識して 保や少子化対策に取り組むこと

おります。庁内に関係部署によ

担には、世代間格差が生じてい 政サービスを行うための費用負 伴った人口減少であるため、行

行政サービスを提供するうえで

都市の活力の維持や安定的な

大きな影響があるため、人口確

く。どのように持続可能な行財

わっていき、少子高齢化の形を される行政サービスの内容は変 スの総量は減る一方で、必要と

どのように対策を講じていくか

度の負担がなく対策ができるが

早い段階から取り組む方が、過 をかけるためには、できる限り

その考えは。

人口減少によって行政サービ

です。 を踏まえ総合的に判断したもの 減免理由は、これまでの経緯

他の質問項目

効果的に活用するために継続的

いった行政資源を、

効率的かつ

めには、限られた財源や人財と

、口構造の変化に対応するた

な行政改革に取り組み、

人口構

消費税増税に対する市長のご認識 について

ります。

ご提言の「市庁舎保全管理等

とを前提に、 措置を講じ、 計画的に修繕や更新を行う予防

長寿命化を図るこ 65年を想定してお

によると、

50年となりますが

新庁舎の耐用年数は、

省令に

せ下さい。

いたしますが、ご見解をお聞か 総合計画」を策定すべきと提言 等を定める「市庁舎保全管理等 き下げ、丁寧な維持管理の手法



無 所 属 -般質問

(一括) 玄太

ると認識しております。

の財源の確保が重要な課題であ

神山

|人口減少が進む中での持

続可能な行財政経営と財

可能となる。人口減少に歯止め めて、持続可能なまちづくりが

人口減少に歯止めをかけて初

◇人口対策につい

他の質問項目

ていきたいと考えております。 策の検討や、事業実施につなげ 口減少問題に対する効果的な施 げましたので、組織横断的に人 る人口対策の検討会議を立ち上

2039年の甲府の都市像について

スの在り方と、それを賄うため 造の変化を見据えた行政サービ

各常任委員会審査の概要 (常任委員長報告 要旨)

予算や条例など議案の審査 で出された主な経過等の概 要をお知らせします。

民生文教委員会

◆議案第 47 号 平成 25 年度甲府市一般会 計補正予算(第 1 号)中当委員会所管分

重度心身障害者医療費助成事業の窓口無料から自動還付方式への変更に伴う補正について、複雑な手続きや一時払い等の負担が大きいので反対との意見がありましたが、採決の結果、多数をもって可決されました。なお、この議案に対し少数意見の留保※を求める意見があり、留保されました。

◆議案第 51 号 甲府市総合市民会館条例 の一部を改正する条例制定について

全員異議なく当局原案のとおり可決する ものと決しましたが、指定管理者制度の運 営については、的確な検証を行うよう求め る意見がありました。

----- 主な付託案件 -----

◆議案第 46 号 専決処分について(平成 25 年度甲府市国民健康保険事業特別会 計補正予算(第 1 号))

総務委員会

◆議案第 57 号 甲府市職員の給与の臨時 特例に関する条例制定について

職員の生活への影響や業務に対する意欲の低下が懸念されるとともに、地域経済にも大きな影響を与えるため反対であるとの意見と、甲府市を取り巻く状況や、他都市の状況を鑑み、職員給与の減額を行うことは、やむをえない措置であるので賛成であるとの意見があり、採決の結果、多数をもって当局原案のとおり可決されました。

---- 主な付託案件 -----

◆議案第53号

固定資産評価員の選任について

◆議案第58号

甲府市職員給与条例等の一部を改正する 条例制定について

●請願第 24-7 号

年金 2.5%削減の中止を求める意見書の 提出を求める請願

環境水道委員会

◆議案第 47 号 平成 25 年度甲府市一般会 計補正予算(第 1 号)中当委員会所管分

全員異議なく当局原案のとおり可決する ものと決しましたが、指定ごみ袋製造に当 たっては、国の経済動向の影響をできる限 り受けないよう契約方法等について検討を 行い、安定した供給体制の構築を求める意 見がありました。

---- 主な付託案件 -----

◆議案第 48 号

平成 25 年度甲府市下水道事業会計補正 予算(第1号)

◆議案第52号

甲府市都市計画下水道事業受益者負担に 関する条例及び甲府市個人情報保護条例 の一部を改正する条例制定について

経済建設委員会

◆議案第54号 市道路線の認定について (濁川左岸4号線)

市道路線の認定(濁川左岸 4 号線)については、全員異議なく当局原案のとおり可決するものと決しました。

◆議案第55号 市道路線の認定について (上帯那4号線)

市道路線の認定(上帯那 4 号線)については、全員異議なく当局原案のとおり可決するものと決しました。

— 主な付託案件 ——

◆議案第 47 号

平成25年度甲府市一般会計補正予算(第1号)中当委員会所管分

◆議案第 56 号 訴えの提起について

- ※少数意見の留保とは、委員会の採決で多数を得られず廃棄された意見で、本会議における審議の際、委員長が行う委員会の 結果報告と合わせて、自ら少数意見として報告する権利を保持しておくことをいいます。
- ■常任委員会は、議会の内部機関として少人数の議員で構成し、議案などを専門的・効果的に審査します。 審査の内容は、本会議で委員長から報告され、本会議の議決(意思決定)の参考となります。



平成25年6月定例会 審議結果

番号	件 名 等	議決月日	結 果	政 友 クラブ	新 政クラブ	公明党	日 本 共産党	こうふ クラブ	みんな の 党	無所属
議案第46号	専決処分について(平成25年度甲府市国民健康保険事業特別会計補正予算(第1号))	6月20日	承 認	0	0	0	0	0	0	0
議案第47号	平成25年度甲府市一般会計補正予算(第1号)	//	可決	0	0	0	×	×	0	0
議案第48号	平成25年度甲府市下水道事業会計補正予算(第1号)	//	//	0	0	0	0	0	0	0
議案第49号	甲府市子ども・子育て会議条例制定について	//	//	0	0	0	0	0	0	0
議案第50号	特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する 条例の一部を改正する条例制定について	//	//	0	0	0	0	0	0	0
議案第51号	甲府市総合市民会館条例の一部を改正する条例制定について	//	//	0	0	0	0	0	0	0
議案第52号	甲府市都市計画下水道事業受益者負担に関する条例及び甲 府市個人情報保護条例の一部を改正する条例制定について	//	//	0	0	0	0	0	0	0
議案第53号	固定資産評価員の選任について(石川甚德)	//	同意	0	0	0	0	0	0	0
議案第54号	市道路線の認定について(濁川左岸4号線)	//	可決	0	0	0	0	0	0	0
議案第55号	市道路線の認定について(上帯那4号線)	//	//	0	0	0	0	0	0	0
議案第56号	訴えの提起について	//	//	0	0	0	0	0	0	0
議案第57号	甲府市職員の給与の臨時特例に関する条例制定について	//	//	0	0	0	×	×	×	×
議案第58号	甲府市職員給与条例等の一部を改正する条例制定について	//	//	0	0	0	0	0	0	0
議案第59号	男女共同参画都市宣言について	//	//	0	0	0	0	0	0	0
議案第60号	監査委員の選任について(原田洋二)	//	同意	0	0	0	0	0	0	0
甲議第3号	甲府市議会委員会条例の一部を改正する条例制定について	6月10日	可決	0	0	0	0	0	0	0
甲議第4号	甲府市議会事務局設置条例の一部を改正する条例制定について	6月20日	//	0	0	0	×	×	×	×
甲議第5号	風しんの感染拡大に伴う予防対策に関する意見書提出について	//	//	0	0	0	0	0	0	0
日程追加	議長選挙について(野中一二)	//	当 選	選挙の結果第94代議長当選						
日程追加	副議長選挙について(廣瀬集一)	//	//	選挙の結果第105代副議長当選						
甲議第6号	常任委員会委員の選任について	//	選任	0	0	0	0	0	0	0
甲議第7号	議会運営委員会委員の選任について	//	//	0	0	0	0	0	0	0
日程追加	甲府地区広域行政事務組合議会議員の補欠議員の選挙について	//	当 選	0	0	0	0	0	0	0
日程追加	甲府・峡東地域ごみ処理施設事務組合議会議員の補欠議員 の選挙について	//	//	0	0	0	0	0	0	0
日程追加	山梨県後期高齢者医療広域連合議会議員の補欠議員の選挙 について	//	//	0	0	0	0	0	0	0
日程追加	リニア中央新幹線対策特別委員会委員の補欠委員の選任に ついて	//	選任	0	0	0	0	0	0	0

○賛成·×反対

政友クラブ ◎斉藤憲二 森沢幸夫 清水 保 佐藤茂樹 荻原隆宏 池谷陸雄 原田洋二 大塚義久 廣瀬集一 鈴木 篤 岡 政吉 坂本信康

長沼達彦 石原秀一

新政クラブ ◎桜井正富 金丸三郎 野中一二 清水 仁 輿石 修 山中和男

公 明 党 ◎兵道顕司 植田年美 中村明彦 佐野弘仁 長沢達也

日本共産党 ◎石原 剛 内藤司朗 清水英知

こうふクラブ ◎山田 厚 山田弘之

みんなの党 飯島正樹

無 所 属 神山玄太 (平成25年7月5日付 こうふクラブに所属) ◎は会派代表者

◆議会運営委員会委員の選任者

委員長 清水 保 副委員長 兵道 顕司

斉藤 憲二 池谷 陸雄 原田 洋二 坂本 信康 桜井 正富 輿石 修 中村 明彦 石原 剛 山田 厚 神山 玄太

- ◆常任委員会委員の選任者・・・12ページに掲載
- ◆甲府地区広域行政事務組合議会議員の補欠議員の選挙当選者

佐藤 茂樹 清水 仁 清水 英知 神山 玄太

- ◆甲府・峡東地域ごみ処理施設事務組合議会議員の補欠議員の選挙当選者 岡 政吉
- ◆山梨県後期高齢者医療広域連合議会議員の補欠議員の選挙当選者 清水 保
- ◆リニア中央新幹線対策特別委員会委員の補欠委員の選任者 興石 修

················· 人事案件 ··············.

◆議会選出監査委員の選任

大塚義久氏の 辞任に伴い、 次のとおり同意 されました。



原田 洋二

表紙の写真を募集しています

写真は、電子メールで縦型画像データ(ファイル形式はJPEG)を添付してください。

「市議会だより」以外では使用しませんし、返 却もしません。

投稿者の住所、氏名、電話番号を必ず明記して ください。

応募作品は、編集委員会で選考し、1点のみの採用となります。(締切日 9月17日必着)

↓送り先電子メールアドレス↓
gikai@city.kofu.yamanashi.jp



請願審査結果/議会日誌/意見書等▮▮▮▮

請願審查結果 平成25年6月定例会

番号		件 名	付託委員会	結 果			
	第24-7号	年金2.5%削減の中止を求める意見書の提出を求める請願	総 務	不 採 択			
	第23-2号	TPP(環太平洋連携協定)への交渉参加阻止に関する請願	総務	継続審査			
	第23-8号	3号 環太平洋連携協定(TPP)への参加を行わないよう求める意見書採択を求める請願		//			
請	第25-2号	米軍新型輸送機オスプレイの配備撤回と全国低空飛行訓練中止を求める意見書採 択を求める請願	//	//			
願	第25-3号	甲府市の給食食材の安全性に関する請願	民生文教	//			
加只	第23-5号	国に原子力政策の転換を求める請願	環境水道	//			
	第23-6号 浜岡原発の永久停止と再生可能エネルギーへの転換、促進を求める意見書提出を求める請願		//	//			
	第23-7号	浜岡原子力発電所を廃炉にすることの意見書を求める請願	//	//			

	議会日誌
	議会日誌
4月19日(金)	会派代表者会議
4月20日(土)	新庁舎落成式
4月25日(木)	関東市議会議長会総会
5月 7日(火)	市議会OB会植樹式、新庁舎開庁式
5月 8日(水)	会派代表者会議
5月20日(月)	議員互助会総会、
	環境水道委員会(閉会中所管事項調査)
5月24日(金)	会派代表者会議
6月 1日(土)	水源林植樹の集い
6月 3日(月)	6月定例会招集告示
6月 6日(木)	会派代表者会議、議会運営委員会
6月10日(月)	6月定例会開会、議場開場セレモニー、
	会派代表者会議
6月13日(木) -	
6月14日(金)	- 本会議、質疑及び市政一般質問
6月17日(月) —	各常任委員会付託、会派代表者会議、
	議会運営委員会
6月18日(火)	常任委員会(総務・民生文教)
6月19日(水)	常任委員会 (経済建設・環境水道)
6月20日(木)	会派代表者会議、議会運営委員会、
	本会議、各常任委員長報告、討論、採決、
(1)	6月定例会閉会
6月25日(火)	少年議会
6月27日(木)	市議会だより編集委員会

少年議会 平成25年度 開催される!

ました。 表者が集まり、少年議会が開催され 市内小中学校の児童会や生徒会の代 この度、新庁舎の議場において、

少年議会は、自治の心を養い、議

学ぶとともに、各学校間の交流を深 で、議員は市内の小中学校41校から ために開催しています。 め、より良いまちづくりに取り組む 会活動を通じて民主的な議会運営を 執行部の自治庁校は城南中学校

> で熱い議論を行い、 本年度の活動ス

顔あふれる『わ』のまち,甲府、~ ローガンや重点目標を決めました。 本年度の活動スローガンは、「笑

どもを産むことができる社会環境づく

もたちの健やかな成長と、安心して子

よって、国や地域の将来を担う子ど

(中略)

拡大が進行している。

現在、首都圏を中心に風しんの感染

項の早期実施を強く要望する。 りに向けて、国及び県に対し、



平成25年6月25日開催

ました。

みんなに笑顔を届けたい」に決まり

2名ずつが参加、新しくなった議場

提出先

衆参両院議長、 厚生労働大臣、 山梨県知事 内閣総理大臣、

ます。 編集メンバーも替わり新たな気持ち

市議会だより編集委員会

委員長 副委員長 で「市議会だより」を発行してまい 員 植田 岡 廣瀬 野中 集一 年美 政吉 飯島 清水 英和知男 正樹

一、先天性風しん症候群の発生防止を 、風しんに関する情報提供や啓発に一 し、財政措置を講じること。 目的として自治体が行う対策に対 防接種など必要な対策を講じること。 疫を持たない世代の方々に対し、予 性の夫、また20歳代から40歳代の免 希望している女性や妊娠している女 層努めるとともに、妊娠を予定又は

意見書

○風しんの感染拡大に伴う予防対策に 関する意見書〈抜粋〉

民生文教委員会

す。
は
のうち国民健康保険にのうち国民健康保険にのうち国民健康保険にのいる。

員

山中和男

新政クラブ

委 員

飯島正樹

みんなの党



副委員長 長沼達彦 政友クラブ



委員長 池谷陸雄 政友クラブ



委 員 輿石 修 新政クラブ



委 員 廣瀬集· 政友クラブ



委 清水英知 日本共産党



員 委 植田年美 公明党

総務委員会

するものを調査します。



副委員長 坂本信康 政友クラブ



委員長 清水 仁 新政クラブ



員 金丸三郎 新政クラブ



委 員 荻原隆宏 政友クラブ



委 員 斉藤憲二 政友クラブ



員 委 山田 厚 こうふクラブ



委 員 石原 剛 日本共産党



委 兵道顕司 公明党

環境水道委員会

関するものを調査しま環境部・上下水道局に



副委員長 中村明彦 公明党



委員長 森沢幸夫 政友クラブ



副委員長 石原秀 政友クラブ



委員長 大塚義久 政友クラブ



委 Ħ 政吉 岡 政友クラフ



委 員 鈴木 篤 政友クラブ



委 員 清水 保



委 員 桜井正富



Ħ 委 原田洋



委 Ħ 佐藤茂樹 政友クラフ



委 員 山田弘之 こうふクラブ



員 委 長沢達也 公明党



委 野中· 新政クラブ



員 委 神山玄太 こうふクラフ



員 委 内藤司朗 日本共産党



委 員 佐野弘仁 公明党

